

リニューアルオープン

道の駅そうま物産館

道の駅そうま物産館は10月20日、地域の活性化と産業復興の拠点としてリニューアル



オープンしました。

式典では、立谷市長ら関係者がテープカットを行い、開店を祝いました。

店内には、ナシや野菜などの新鮮な農産物、土産物が並んだ物産販売コーナーのほか、ソフトクリームなどのスイーツが味わえる「殿様ミルクスタンドSOMA」、地元食材を取り入れたメニューが味わえるレストラン「キッチンにつたき」などが新設され、多くの市民や観光客らが訪れ、買い物などを楽しみました。

おかげさまで2周年 浜の駅松川浦

相馬復興市民市場「浜の駅松川浦」の2周年を記念した

イベントは10月21日～23日の3日間、同市場で開催されました。

10月22日は、プロの競り人による模擬競りが行われ、買い物客らがタイやアワビなどの海産物やメロンなどの農産物の競りに参加し、大いに盛り上がりました。

相馬の新鮮な海産物や農産物を求めて市内外から多くの



人が訪れました。

一部通行止め

解除

市道大洲松川線



市道大洲松川線の一部通行止め解除は10月20日に行われ、車両の通行が再開されました。

同道は、尾浜と磯部を結び、松川浦と太平洋の景色を眺めることができる市道で、令和4年福島県沖地震の影響で、路面や道路下の堤防が破損したため、市は全区間約6キロメートルを全面通行止めにしていました。

当日は、3カ所の片側交互通行を除き道路が開放され、多くの利用者が浜風を感じながら走行しました。

地震被害の復旧業務に力強い支援
派遣職員の離任および着任

令和4年福島県沖地震により被災した道路や公共施設などの復旧事業を支援したため、県などから職員を派遣いただいています。

▽離任(10月31日)



10月末で離任する派遣職員の離任式は10月31日、市役所で開かれました。

式で、立谷市長から離任する鎌田伸さん(岩手県北上市)、矢吹圭太さん(福島県)の2人に感謝の気持ちを込めた色紙が手渡され、2人は市の職員などに見送られ、それぞれの自治体への帰路に就きました。

▽着任(11月1日)

西田修さん(福島県)

●期間 11月1日(火)～令和5年3月31日(金)

●配属課 建築課(建築技師)

●ひとこと

県庁建築住宅課から参りました。相馬市の1日でも早い復旧に向けて精一杯尽力させていただきます。よろしく願いいたします。



うすくちしようにゆで農林水産大臣賞

合資会社山形屋商店

第49回全国醤油品評会受賞
報告は10月17日、市役所で行



われ、合資会社山形屋商店の渡辺和夫代表社員が立谷市長に報告しました。

今回受賞した商品は山形屋商店の「ヤマブンうすくち醤油」で、まろやかな甘みとうまみのバランスなどが高い評価を受け、最高賞である農林水産大臣賞を受賞。

うすくちしようにゆでの最高賞受賞は東北初の快挙となり、報告を受けた立谷市長は、その功績をたたえました。

アントレプレナー東北地区グランプリ受賞 高山慎也さん

アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2022ジャパン

東北地区グランプリ受賞報告は10月18日、市役所で行われ、株式会社アリーナの高山慎也社長が立谷市長に報告しました。

同賞は優れた起業家をたたえる表彰制度で、高山社長は同社の高い技術力と起業家としてのリーダーシップが評価され、東北代表として12月6日に東京都開かれる日本大会に出場します。



報告を受けた立谷市長は、その功績をたたえました。

人とのつながりを大切に 第8回相看祭



第8回相看祭「相看相愛2022」は10月16日、相馬看護専門学校で開催され、多くの市民らが訪れました。

同学祭は3年に1回の開催で、今回は同校が地域の皆さんの心を寄せる存在でありたいという願いと、コロナ禍だからこそ人とのつながりを大切にしたいという思いを込め、「心を寄せよう、思いを積み重ねよう」をテーマに開催。会場では、縁日コーナーや模擬店のほか、看護体験や車いすの移乗移送体験など看護学校ならではの催しが行われました。

地域の安全のために 市消防秋季検閲式

市消防秋季検閲式は10月16日、二の丸球場で開かれ、消防団員と女性消防隊など約400人が参加しました。

同式は、消防団員らの団結と士気を高めることや規律の確認を目的に実施。

当日は、鎌田重昭消防団長の訓示に続き、立谷市長が「市民生活の安全を守るためには皆さんの力が必要です。市民の皆さんの模範となるよう努め、防火啓発や消防活動に精励ください」と訓示し、通常点検を実施しました。



団員は、予防消防の重要性を共有するとともに、防災への士気を高めました。

相馬の魅力を1枚に 相馬の夏フォトコンテスト表彰式



相馬の夏フォトコンテスト表彰式は10月21日、千客万来館で開催され、関係者10人が出席しました。

市内外から応募のあった13点の中から5点が入賞。

式で、入賞者に賞状などが手渡されました。

入賞作品は、今後、観光PRを目的に市観光協会ホームページや当協会パンフレットなどで活用される予定です。

祭りの雰囲気を楽しむ

あいにくえんの秋祭り

「あいにくえんの秋祭り」は10月8日、相馬愛育園で開



催され、20組64人の親子が参加しました。

親子の触れ合いと子育て世代の交流を目的に、同園の主催。

会場には、くじ引きやヨーヨー釣り、絵の具を使って完成させた絵をミニ額縁に入れて持ち帰るお絵描きブースなどが設けられ、参加した親子は相馬盆唄が流れる中、各ブースを回って祭りの雰囲気を楽しんでいました。

親子で元気に競争しよう

中央児童センターおやこ教室

中央児童センターおやこ教室「大運動会」は10月18日、同所で開催され、親子14組28人が参加しました。

当日は、親子で参加する、卵に見立てたボールを運んで競争する「ペンギンリレー」や障害物をよけながらボールを転がす「大玉ころがし」のほか、保護者が参加する綱引きが行われました。



し、心地よい汗を流しました。

豊かな感性を育てる

MOA美術館

児童作品展表彰



MOA美術館相馬市児童作品展表彰式は10月23日、総合福祉センターで開催され、受賞者ら約80人が出席しました。同作品展は、子どもたちの美の心と豊かな感性を育てることを目的に、MOA美術館とMOA美術館福島県実行委員会が主催。

市内の児童が出席した342作品の中から、特別賞8作品、金賞5作品、銀賞5作品、銅賞5作品、佳作16作品が選ばれ、荒秀一同実行委員会委員長らから入賞者一人一人に表彰状が手渡されました。

バリエーション豊かな音楽を楽しむ

SOMA音フェス2022

SOMA音フェス2022は10月23日、田町通りで開催され、多くの市民らが訪れました。

当日は、14団体による音楽ステージのほか、ジャグリングや猿まわしなどの大道芸が披露され、歩行者天国となった通りには、たこ焼きやクレープなどの露店が並びました。

訪れた市民らは、バリエーション豊かな音楽に触れ、時



折手拍子をするなど、楽しいひとときを過ごしていました。

メイクでおしゃれに変身ハロウィンメイクアップワークショップ

LV MHグループ「ハロウィンメイクアップワーク



ショップ」は10月30日、LV MH子どもアート・メゾンで開催され、市内の親子13組41人が参加しました。

当日は、プロのメイクアップアーティストが、子どもたちにカボチャをイメージしたメイクなどを施したほか、保護者にはスペシャルハンドマッサージを行いました。

参加者らは、メイクアップなどを通してハロウィンの雰囲気を楽しんでいました。

放課後子ども教室

将来を担う子どもたちを地域全体で育成することなどを目的に、放課後の居場所づくりとして、「放課後子ども教室」を市内の全小学校の児童を対象に実施しています。

▽おおのつくし んぼ教室



おおのつくしんぼ教室の「ハロウィンパーティー」は10月20日、大野小学校で開催され、10人の児童が参加しました。

参加した児童らは、小道具やびっくり箱を使ったマジックショーを観覧した後、思い思いの仮装をして、ハロウィンの雰囲気を楽しんでいました。

▽さくら子ども 教室

さくら子ども教室の「ハロウィンを楽しもう」は10月26日、桜丘小学校で開催され、55人の児童が参加しました。

参加した児童らは、マスクングテープなどを使ってハロウィンの仮装を手作りしたほか、絵本の読み聞かせに耳を傾けて、ハロウィーンを楽しんでいました。



▽日立木 ポプラっ子教室



日立木ポプラっ子教室の「ハロウィンパーティー」は10月27日、日立木小学校で開催され、14人の児童が参加しました。

参加した児童らは、マントやカチューシャなどでハロウィンの仮装をしたほか、お菓子に色とりどりのデコレーションをして、おいしそうに食べていました。

工作とお菓子づくりに挑戦

中央公民館こども教室

中央公民館こども教室「ハロウィンの工作&お菓子づくり」は10月22日、同公民館で開催され、市内の小学生24人が参加しました。

工作では、牛乳パックを再利用したおぼけかぼちゃ風のバッグ作りに挑戦し、お菓子づくりでは、子ども同士で協力しながら、カップケーキを作りました。

参加した子どもたちは、工作とお菓子づくりを通して、



ハロウィーンの楽しい一日を過ごしていました。

旅館の板前が指導

中央公民館「相馬のお魚料理教室」

中央公民館「相馬のお魚料理教室」は10月25日、同公民館で開催され、市民ら9人が参加しました。

当日は、松川浦ガイドの会から3人の講師を迎え、マダイのさばき方や下処理の方法などを学びました。

参加した市民らは、講師の実演を見た後、実際にマダイのうろこ取りや三枚おろしなどに挑戦し、相馬産の魚料理への関心を深めていました。



相双沖の天然トラフグをPR

「福とら」提供店舗発表会

相馬市「福とら」提供店舗報道機関発表会は10月31日、観光ホテル喜楽荘で行われ、関係者23人が出席しました。

同発表会は、相双沖の天然トラフグ「福とら」を、相馬の冬の味覚として広くPRすることを目的に、相馬市「福とら」活用推進協議会が主催。当日は、「福とら」の提供店舗を案内するチラシが披露されたほか、刺身（てっさ）やから揚げなどの料理が紹介され、参加者らは、身が締ま

りうまみが凝縮された福とらを試食し、その味を堪能しました。

「一斗缶」のかまどで野外調理に
挑戦 山上小学校非常食体験

山上小学校非常食体験は11月1日、同校で開催され、全校児童が参加しました。

同イベントは防災教育の一環として実施され、児童が学校の畑で栽培したサトイモ「相馬土垂」を使って野外調理を体験。

児童らは、保護者の協力を得ながら「一斗缶」のかまどでしようゆ味など3種類のいも煮を作り、非常食づくりの大切さなどを学びました。

地域に貢献
日立木小による
ポップ贈呈式

日立木小学校によるポップ贈呈式は10月28日、道の駅そうまで行われ、児童ら約20人が参加しました。

同式は、リニューアルオープンした道の駅そうま物産館に協力するため、同校の6年生がポップ（商品紹介広告物）を作成し贈呈するもの。

当日は、贈呈のほか、児童によるよさこい踊りが披露され、訪れた市民らは、堂々としたパフォーマンスに大きな拍手を送りました。

※贈呈されたポップは、同物産館に飾られました。

初戦を勝利で飾るも2回戦で惜敗
第9回市町村対抗ソフトボール大会

レーで平田村チームを0点に抑え、12対0で勝利しました。2回戦は、10月15日、伊達市チームと対戦。

2回表と3回表にそれぞれ1点を奪われるも、3回裏で地野翔選手のスライディング、斉藤亮汰選手の二塁打などで2点を返し同点。

5回表には伊達市の猛攻を受け5点を取られた直後、5回裏で市川瑠唯選手の三塁打などで3点を返し粘り強いプレーで応戦するも、5対10で敗れました。

来年の同大会に向けて、引き続き皆さんの応援をお願いします。

相馬市チームは10月9日、初戦を平田村チームと対戦。2回表に眞壁好貴選手の満塁ホームランや渡木義弘選手のヘッドスライディングなどで、

気迫のこもったプレーで11点を先取。4回表にも追加点を上げたほか、投手陣も笠谷陽大選手から佐藤智英選手のり



大勢の市民でにぎわう

相馬市民まつり

第22回そうま市民まつりは10月30日、市民のひろばをメイン会場に開かれ、秋晴れの中、約3,400人の市民でにぎわいました。

市民のひろばでは、恒例の姉妹都市北海道大樹町や特産品相互取扱協定を締結している大阪府泉佐野市の物産展、バザーなどのテントが軒を連ねました。

また、特設ステージでは、相馬高校相馬太鼓部の演奏な



12年ぶりの相馬市開催

全国報徳サミット

600人が参加しました。

当日は、開演アトラクションとして原釜神楽保存会による神楽や市子ども民謡教室らによる民謡が披露されたほか、「至誠と推譲 報徳仕法を励みに復興に取り組んだ相馬市」と題して立谷市長による基調講演などが行われました。また、パネルディスカッションでは立谷市長がコーディネーターを務め、報徳仕法に基づいた各自自治体の取り組みが話し合われました。



瑞宝単光章受章 門馬隆行さん

秋の叙勲受章報告は11月7日、市役所で行われ、瑞宝単光章を受章した門馬隆行さんが訪れました。

門馬さんは、昭和47年に消防団に入団し、令和2年まで消防団活動に従事。

消防団分団長を務めるなど、48年にわたり、市の防火防災に貢献しました。

門馬さんは「先輩や後輩、地域の皆さん、そして家族に支えられながら活動が続けることができました」と述べ、報告を受けた立谷市長は受章をたたえました。



安心に暮らせる社会を目指して

交通安全総ぐるみ大会

第56回市交通安全総ぐるみ大会は11月10日、市民会館で開かれ、市民ら約150人が参加



しました。

同大会は、市民総ぐるみで悲惨な交通事故の防止に取り組む「安全で安心に暮らせる交通社会の実現」を目指すことを目的に、市および市交通対策協議会が主催。

当日は、優良運転者への表彰のほか、相馬高等学校生徒による交通安全の提言などが行われ、最後に参加者全員で交通事故の根絶に向けてまい進する「大会宣言」を採択し、交通安全への決意を新たにしました。

スポーツ大会出場報告

スポーツウエルネス吹矢

スポーツ大会出場報告は10月28日、市役所で行われ、全国大会に出場する板倉素子選手、青田治子選手、藤澤範子選手の3人が訪れました。

選手らは、県スポーツウエルネス吹矢協会の推薦を受け、11月29日から東京都で開催される全国大会に出場。

報告を受けた立谷市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

